

「東京の緑地計画-1950年代以降の歴史と最近の動向-」  
竹内智子（東京都都市整備局都市基盤部施設計画課）

日時：3月7日（土）

会場：環境情報学習センター（エコギャラリー新宿）

要旨：

東京では、緑地を保全・創出するために、土地を買収し公有地化する営造物公園制度と、民有地を規制して保全する地域制緑地制度、その組み合わせによる様々な取組みが講じられてきた。特に市街地が急速に拡大した1950年代以降に、都市郊外の緑地が、どのような施策の影響を受け、今日に至っているか、東京周辺区部に1930年代に計画された緑地帯（グリーンベルト）を事例として、研究成果をもとに紹介する。

また、都市計画の面から見た最近の東京の緑地の現状と課題、東京都の新しい緑地施策の動向などを紹介する。

近年、都市計画法、農地法などの土地利用の根本に関わる制度の大幅な見直しを検討され始めている。各研究者・実務者が、保全・創出対象としている緑地について、どのような制度に影響されているのかを改めて考えるきっかけとなるような話題提供としたい。